

「幼子と共に」10月号

はじめに

暑い日が続いた9月を越えて、少し秋めいた10月を迎えました。朝、少し涼しくなったことで、外遊びをする子どもたちが増えてきたように感じます。子どもたちは、ブランコをしたり、お砂で遊んだり、鬼ごっこをしたりと、それぞれ好きな遊びを、自分で選んで、のびのびと遊んでいるようです。遊びの中から生まれていく子どもたちの「やりたい」「やってみたい」という心を、そのまま受け止めていく日々を過ごしていきたいと思います。なお、運動会については、次号に掲載します！

どろんこ大好き(∇)/

まだまだ、夏らしさが残る9月某日、年中クラス合同で、泥んこ遊びが行われました。園庭に水をまき、泥を作って遊びます。真っ白いシャツが、みるみるうちに、泥だらけ。手足はもちろん、顔にも泥をべったりとつけて遊びました。

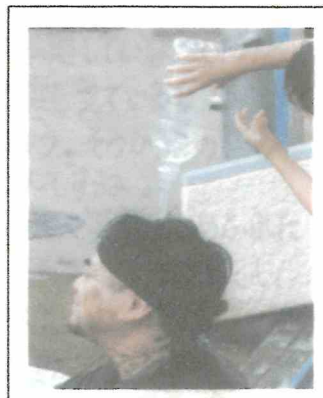
子どもたちだけではなく！先生も一緒に入って泥だらけ！！子どもと同じ目線で、子どもの世界の中に入って、先生も楽しめます(∇)/保育者が、子どもにさせる保育ではなくて、保育者も、子どもの中に入って、一緒に遊べるのが、越谷幼稚園の良い所！！

こうして、保育者と子どもの間に、さらなる信頼関係が生まれ、幼稚園生活に安心感も生まれるものです。また、こうやって伸び伸びと遊ぶことで、2学期に入ったという若干の緊張から解放されて、幼稚園をもっと楽しむための原動力にもなるのだと思うのです。その意味で、この季節と時期にピッタリな、素敵なプチ行事であったのではないかなと言えるのです。

昔、テレビのバラエティー番組で、さまーずの三村さんが、「どのような時に、大人になったと感じましたか？」という質問に対して、「何かにつけすぐに手を洗う時」と答えていました。また、有名なマンガの「GTO」では、一人の高校生が海辺で砂のついた足をみて「いつから汚れるのが嫌になったのだろうか」と自問するシーンが描かれていました。なるほど、大人になればなるほど、汚れることを嫌うのかもしれません。

子どもたちは、泥が大好きです。汚れることを気にしません。それは、子どもらしさであるかもしれません。大事なことは、その子どもの姿を、そのまま受け止めていくことです。汚れてしまうからやらせないのではなくて、汚れても、子どもが子どもらしく、笑顔で遊べることを、選ぶことが、子どもの園としての幼稚園教育の務めなのだと思うのです。

ある幼稚園のケースであります。二人の子どもが、どんぐりを集めていました。そして、それぞれの保護者に、それを自慢げに見せてきます。一人の子の親は、それをみて、「汚いから捨てなさい」と叱りました。どんぐりには「ソウムシ」がいるので、気持ちもわからないわけではありませんが、その子は、残念そうな表情で、どんぐりを捨てました。もう一人の子の親は、「すごい！！沢山拾っ



たのね！」と言って、そのどんぐりを大切に包んで、持って帰りました。翌日、一人の子は、どんぐり拾いを止めたが、後の子は、図鑑を広げて、どんぐりの中身を調べ、それ以降、どんぐりだけではなく、色々な植物の知識を身につけ、「博士」と呼ばれたようです。

子どもは、汚れることを恐れません。むしろ、自分から汚しにいけますし、色々なものを手にとって観察をします。大切なことは、その子がしているものを、大人の基準ではかるのではなく、子どもと同じ目線にたって、それを受け止めていくことではないかと思うのです。そうやって受け入れられていることで、安心感が生まれ、新しい世界を、新しい視野で、広げていくのだと思うのです。

キリスト教豆知識

10月は、キリスト教会、とりわけプロテスタント教会にとって、特別な時期でもあります。なぜなら、10月31日は、「宗教改革記念日」だからです。かつて、教会は一つでありましたが、ローマを中心とした西方とギリシャを中心とした東方に分かれてしまいます。そして、西方教会の教理に疑問を感じたマルティン・ルターが、1517年10月31日に、神学論争を呼びかけます。それが引き金となって、西方教会から、プロテスタント教会が生まれます。このプロテスタント教会の枝の一つに越谷教会もつながっているのです。

この歴史的出来事は、世界に大きな影響を与えました。例えば、かつて、聖書はラテン語で読まれていましたが、当時生まれたばかりの印刷技術を用いて、民衆でも理解できる言葉に訳され、発行されたのです。聖書は、もはや、聖職者だけの書物ではなく、私達一人ひとりに身近なものとなったのです。

神様は、私達から遠く離れた存在ではありません。主イエス・キリストを通して、この地上に生きられた存在であり、聖書を通して、時代を超えて、私達の生活の中に生きて、語ってくださるお方でもあります。越谷幼稚園では、そんな神様の存在を、身近に感じながら、自分が愛され、生かされていることを、これからも丁寧にお伝えしていきたいと思います。

園長 須賀 工

～栄養士だより～

手軽に作れるたんぱく質豊富なおやつを紹介いたします。



《カンタンお麴ラスク》

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 〈材料〉 ミニ麴（一口サイズ） 15g | ①天パンにお麴を広げ160℃15分から焼きをする。 |
| バター 15g | ②溶かしたバターに砂糖を混ぜ、麴に絡める。 |
| （乳アレルギーの場合サラダ油） | ③再び160℃で10分焼く。 |
| 砂糖 15g | ④粗熱がとれたらきな粉をまぶす。 |
| きな粉 25g | |

栄養士 池田和美